

第2回懇親旅行と理事会が同時開催される！



県央経営者会の第2回懇親旅行が6月8日（日）、9日（月）の1泊2日の日程で開催され、25名の会員が参加しました。6月8日は、宿に到着するとすぐに今年度第2回の理事会が開催されました。宿泊先は箱根「桜庵」という旅館で、すばらしい設備、特に露天風呂は圧巻でした（この宿は、会員の横手理事に紹介していただきました）。

旅程は、まず8日の12時30分に大泉邸前に集合。幹事の野上氏の運転するバスに乗り、予想以上の好天に恵まれて出発。途中何事もなく、午後1時半過ぎには元箱根の鳥居茶屋に到着し、わかさぎの御前揚げ定食をみんなで和気あいあいのうちに食し、堪能しました。ここで若干時間を調整し、午後3時には湯本の「桜庵」に到着しました。み

んな風呂に入るとすぐに、浴衣姿のまま会議室で理事会に参加し、理事以外のオブザーバーの方たちと実りある討議に花が咲きました。

さて、6時から待ちに待った夜の宴会となりました。きれいどころを交えて楽しい話と美酒と山海の珍味に、しばし時のたつのも忘れた一夕でした。ちよつと残念であったのは、予約が遅かったので宴会場がテール席になってしまったこと、芸子さんたちは立ったまま、あるいは中腰で応対していたことです。寝室はすべて広々とした部屋で、3人ずつ寝るには広すぎるくらいスペースなので、皆さんぐっすりとお休みになったことでしょう。

翌日はあいにくの雨が降っていましたが、7時半には朝食をとりそれぞれ方向の同じ方どおしで帰路に着きました。あつというまの懇親旅行でしたが、皆さん満足な旅であったと思います。以下に、参加された3名の方からの感想文を掲載いたしました。

最後に「桜庵」を紹介してくださった横手理事、バスの運転で行きも帰りも一滴も飲めなかつた野上幹事、ありがとうございました。来年はさらに大勢の会員が参加できるように、企画を練っていききたいと思います。（事務局 福島梧郎記）



親睦委員会委員長 中村 幹夫

今回の懇親旅行は、年間計画では秋の予定でしたが、公開例会等の関係で急遽6月に前倒しと成り、ご迷惑をお掛けしました。昨年は人数が集まらず、飯山温泉で宿泊なしの懇親会を実施致しました。今回は親睦委員会が担当して初めての懇親旅行であり、多くの皆様にご参加を頂きたく、一昨年（初回）の反省も踏まえて、仕事への影響も最小限にと、近場の高級旅館（箱根・桜庵）と致しました。

三十人弱の出席で、新緑と川のせせらぎのコーラレーションの中で楽しい一時を過ごしました。次回も大勢の皆様方のご参加お待ちしております。



西山 明会員

お城のような会長宅前に集合。バスにて酒盛りをしながらの楽しい珍道中を楽しませていただきました。いつもまじめにしている会長の素顔も拝見でき、とても気さくな方だという印象を受け、思い出に残る旅行でした。宿泊場所も箱根の隠れ里に相応しく、すばらしい桜庵という旅館に泊まれたことも大変印象に残りました。特にお風呂がもっとも印象に残り、温もりのある檜風呂で、仕切りのない額縁から緑一色の景色を見るにつけ、本当に癒された一日となりました。



理事 山本道子

県央経営者会始まって以来、初の移動理事会が行われました。恒例の親睦旅行に代わっての箱根旅行兼理事会でした。日時は6月8日・9日。会場は奥湯本「桜庵」。屋敷から厚木から用意されたバスで観光をしながらホテル入りした方や個々に車で乗り入れた方、新幹線で遠方から駆けつけた方など様々で、参加者は計25人。ほとんどの方が浴衣姿という異例の理事会でしたが、内容は普段より真面目。8月（9月）に海老名を会場に行つ例会について審議しました。「桜庵」はウワサ通りの素敵なホテルで、満足度は二重丸でした。

「県央・湘南アクアシティ構想」

検討委員会からの報告

「県央・湘南アクアシティ構想」検討委員会委員長
増田 健治



「県央・湘南アクアシティ構想」の検討委員会は、7月23日の「第2ツインシティ」の検討会で都合4回の開催となります。

第1回目は、平成20年2月18日(月)に行われ、亀井善太郎衆議院議員、堀江則之県会議員、河野太郎衆議院議長秘書の和田 宏氏の3氏を迎えて開催され、会員は25名参加されました。まず私から、この構想の概要説明を行い、亀井議員からは県央地域の未来像とまちづくりについて話がありました。また堀江議員からは、県の総合計画「神奈川力構想」策定についての話がありました。続いて参加者全員でブレインストーミングをすることになっていましたが、まだそこ

までは進めず、感想・考え方の発表となりました。第2回目の検討会は、平成20年5月19日(月)に開催され、亀井善太郎衆議院議員が参加され、会員は16名の出席でした。この会合では、私から設計コンペについての提案をしたところ、まずこの構想について会員の意見を煮詰めてからコンペを検討したらどうかとの意見が出されました。その結果、次回にもう一度この構想の内容を検討することになりました。また、この会議ではアドバイザーと副委員長が選出され、以後はこの方たちのご協力を得て構想検討委員会を運営することになりました。

アドバイザー…亀井善太郎衆議院議員、堀江則之県
会議員、吉川 昭氏

副委員長…高田喜八氏、安藤通子氏、安齋勝幸氏、
石垣公雄氏

第3回の検討会は、平成20年6月23日(月)に開催され、堀江則之県会議員が出席され、会員は16名の出席でした。この日は増田よりこの構想の発想された由来、成立ちについて再度話しをし、会員の自由な意見を聞くという設定で行われました。堀江議員からは、空港の問題や第二東名が6月30日の設計確認の調印式によりいよいよ動き出すという話しや道州制の話があり、特に議員のライフワークである、ヘリコミュニタの提案がありました。会員の話としては、①今ある市町村がどうあるべきかより、県央地域全体をどうするか、県央全体で100万都市となることを考えるべきだ。②構想の前提条件は自然との共生である。相模川の自然を積極的に守ることを考えなければいけない。③南北の交通機関を考えよう。④相模川をいかに有効活用していくか、両岸の地域が活性化するような案を考えたい。例えば、川岸に花を植え、植樹祭のようなイベントを開催するとか、川を使った交通網、船を南北に走らせるなどを考えること等、いろいろな意見が出されたので、今後これらの案にさらに肉付けをして、検討していくことになりました。

「県央地域の交通利便性向上についての勉強会」報告



「横・箱ロマンズカープロジェクト」実行委員会委員長

飯田 隆三

における交通施策について、パワーポイントを活用しながら講演が行われました。

中でも、県央地域における交通施策では、この地域が交通の要衝であるため、交通機能の強化が欠かせないとのことであり、「北のゲート」となるリニア中央新幹線駅と「南のゲート」となる東海道新幹線新駅の誘致とともに、これらを繋ぐ南北方向の軸となるJR相模線の複線化やさがみ縦貫道路の整備促進を図り、さらに東西方向の軸を充実させるため、第2東名高速道路や厚木秦野道路（国道246号バイパス）などの整備促進と、これらを補完し、一体となって地域交流の基幹となる道路の整備に取り組んでいるとの説明がありました。

また、こうした交通網の整備と併せて、既存施設を有効活用するために重要な視点であり、例えば、異なる鉄道路線間の相互直通運転により、乗り換え回数を減少させる「交通のシームレス化」は、公共交通の連続性確保や利便性向上を図る取組みの一つであるとのことでした。

さらに、公共交通機関やレンタサイクルを利用するシステムを整備し、過度な自動車利用を抑制していくことは、現在、大きく叫ばれている環境負荷の軽減にも繋がるというお話は、大いに納得できるところでした。

なお、長時間にわたるご講演に対して、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

II. 懇談会

講演のあとは、県央経営者会の推進している「横・箱ロマンズカープロジェクト」すなわち、横浜から箱根へロマンズカーを走らせるためにどうしたらよいか、そのための勉強会をここに集まったメンバーを中

標記勉強会が平成20年5月12日(月)午後2時より4時30分まで、厚木商工会議所301会議室で開催されました。当日の出席者は、以下の方々です。

- | | | |
|---------|----------|---------------|
| 坂井 信治氏 | 県土整備部 | 交通企画担当課長 |
| 小池 正幸氏 | 県土整備部 | 都市計画課交通企画班副班長 |
| 一倉 由美子氏 | 県土整備部 | 都市計画課交通企画班主査 |
| 柳田 貴之氏 | 厚木市市政企画部 | 広域政策課係長 |
| 稲毛 芳和氏 | 伊勢原市企画部 | 企画調整課係長 |
| 保坂 富士雄氏 | 秦野市都市部 | 都市計画課課長補佐 |
| 飯沼 和彦氏 | 秦野市都市部 | 都市計画課交通企画班主査 |

まず、大泉 政治県央経営者会会長と、吉村 保典 交通アクセス向上検討委員会委員長より挨拶がありました。続いて、本日のメインイベントである坂井 信治氏の、「県央地域の交通体系について」の講演がありました。

I. 講演

県、坂井課長から、神奈川県県の交通施策の基本的な方向を示す「かながわ交通計画」の概要と県央地域

心に進めたいとの提案をさせていただいたところ、まずは、地元自治体を中心に勉強会を重ねていくことで了承されました。

1. 各市の取り組みについて

厚木市の柳田氏は、現状は交通渋滞の解消を第一の目標としている。また厚木市の端の地域では駅に出るまで1時間かかる場所があり、これを約半分にしようとして取り組んでいる、との話がありました。

伊勢原市の稲毛氏は、ロマンズカーは道灌祭りのようなときに停車するだけなので、これを常時停車にしたいという要望を小田急に出している。これからは人口減になるので、交流人口を増やしていきたいし、そのためには交通アクセスの向上が不可欠となる。

秦野市の保坂氏は、246号線の渋滞を解消したいが、交通量の増大に対して道路整備が追いついていない。そこで市民には「かしこい車の使い方」を働きかけているが、なかなかうまくいっていない。鉄道は小田急の鶴巻温泉駅の駅舎が老朽化しているので、これを何とか改築したいと小田急に要望を出している。

2. 今後の活動について

今後の進め方については、隔月に1回程度勉強会を継続していきたい。その場合、進め方については皆さんのごつくばらんご意見をいただきましたし、将来にわたって地域の要望を実現するよう勉強していくことがいま必要と考えている。ぜひ皆様のご協力をお願いしたい。

ということで、第1回の勉強会は終了しましたが、何事も継続することが力になるということを強調しておきたいと思えます。

掲示板

会社紹介

地域と共に歩む
コンサルタント

株式会社

流通研究所

〒259-1131 伊勢原市伊勢原1-16-8第2小泉ビル202
TEL 0463-95-6361 FAX 0463-95-7188
info@ryutsu-kenkyusho.co.jp

デザインを通して、人を幸せにし、まちを元気にします。

私達はこれまでの地域振興、地域活性化支援のノウハウを活かし、「Happy Design Site」(ハッピーデザインサイト)という部門を立上げ、建築設計・グラフィックデザイン、商業コンサルティング等に特化したサービスを提供します。

<http://www.ryutsu-kenkyusho.co.jp>

docomo ドコモショップ本厚木店

厚木市中町3-2-6 厚木ビル1F

0120-775-360

営業時間 平日 10:00~20:00

土日祝 10:00~19:00

駐車場 東横パーキング・アーバンプラザ

ドコモショップ本厚木店

■小田急小田原線本厚木駅より徒歩5分



松和電子システム株式会社
本社:大和市下鶴間3023-4
TEL:046-274-1700

松沢 成文神奈川県知事と語ろう!



前回の会報でお知らせしました第17回例会は、都合により9月8日(月)に変更になりましたので、お詫びして訂正します。

今回の例会は、松沢 成文神奈川県知事を講演者に迎え、テーマを「松沢成文神奈川県知事と語ろう」にいたしました。最近、禁煙条例や羽田・成田間のリニア新線の提唱など、知事のお考えを伺うよいチャンスと

思われます。また、われわれ県央経営者会の提唱する「県央・湘南アクアシティ構想」についても知事の評価をいただきたいと考えております。

ぜひこの機会に会員の皆様も知事とお話をされ、懇親を深められることをお勧めします。また、お知り合いの方で県央経営者会の活動に興味をもっている方がいられましたら、一人でも二人でも結構ですので例会におつれ下さい。

日時:9月8日(月) 午後6時より開催

会場:オークラフロンティアホテル海老名
3階「ラ・ローズ」

スケジュール:午後6時開会

午後6時20分~7時10分 松沢知事の講演「破天荒力」

午後7時10分~7時50分 知事と語る

午後8時 ~9時30分 懇親会(懇親会でも知事とお話ができます)

※参加費:2000円(知事の著書代を含む)

※お知り合いをお誘い下さい。県央経営者会の活動に興味をもっている方がいられましたら、ぜひこの機会にお誘い下さい。

事務局便り

次回例会の日程変更のお知らせ

上記のように、第17回例会は9月8日(月)に変更となりました。

なお、内容は松沢知事の著書『破天荒力』についての講演と、知事と語る懇談会を設定いたしましたので、大勢の会員の皆様が参加されることを願います。

県央経営者会事務局

〒243-0017 厚木市栄町1-16-15
厚木商工会議所403号
電話 046-296-7010
fax 046-206-9110
メール kenou-k@tanzawa.or.jp